

神戸大学学報

第 162 号

1970.2. 庶務部庶務課発行



〈工学部生産機械工学科研究実験棟〉

昭和44年12月10日工学部生産機械工学科研究棟が竣工しました。構造等は次のとおりです。

構 造：鉄筋コンクリート造4階建 延面積：3,153㎡

建面積：889㎡

— 施設部 —

目 次

学 内 規 則..... 2	○ 昭和44年度第2回人事事務研修
○ 神戸大学物品管理事務取扱規程	○ 第3回国公立大学医学部附属病院
人 事..... 4	臨床検査技術者研修
○ 異 動	○ 昭和44年度全国厚生補導職員研究会
○ 新役職員紹介	雑 報..... 12
○ 海外渡航	○ 職員厚生経費について
学 事..... 8	○ 福利厚生用具類について
○ 昭和45年度入学志願者数調べ	○ 他大学所在地変更
○ 昭和45年度神戸大学入学試験場	○ 他大学住居表示変更
○ 昭和45年度神戸大学大学院募集要項	○ 他大学電話番号変更
○ 学位授与	受け入れ刊行物一覧..... 14
研 修 等..... 12	前号(第161号)訂正..... 14

学内規則

◇ 神戸大学物品管理事務取扱規程

神戸大学物品管理事務処理規程(昭和41年4月1日制定)の全部を改正する。

昭和45年1月19日

神戸大学長事務取扱 戸田義郎

神戸大学物品管理事務取扱規程

(趣旨)

第1条 本学における物品管理事務の取扱いについては、他の法令等で定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(定義)

第2条 この規程において「部局」とは、事務局(学生部を含む。)、学部、教養部、医学部附属病院(医学部附属看護学校および医学部附属衛生検査技師学校を含む。)、経済経営研究所および附属図書館をいい、「部局長」とは各部局長をいう。

(物品の番号の表示)

第3条 物品に付する番号は、別表第1上欄に掲げる区分に応じ、同表下欄に掲げる符号を記号の頭に付して標示するものとする。

(物品の番号の通知の省略)

第4条 物品管理官および分任物品管理官(以下「物品管理官等」という。)が物品出納官および物品供用官に対してする記号および番号の通知を省略することができる物品は、次のとおりとする。

- (1) 細分類表の図書のうち雑誌類
- (2) 細分類表の動物のうち実験実習の用に供するもの。
- (3) 細分類表の原材料品、薬品、消耗品および生産品
- (4) その他記号および番号の標示ができないもの。

(分類換の承認)

第5条 物品管理官等は、学長の承認を得て分類換をすることができる。ただし、細分類表の生産品に属する物品を除き取得価格(取得価格が明らかでない場合は見積価格とする。以下同じ。)が50万円以

上の機械、器具以外の物品については、当該部局長の承認を得て分類換をすることができる。

(物品の管理事務の分掌)

第6条 学長は、別表第二上欄に掲げる区分により、同表下欄に掲げる職にある者を分任物品管理官として指定し、物品管理官の事務の一部を分掌させる。

(物品出納および物品供用官の委任等の報告)

第7条 分任物品管理官は、物品の出納、保管および供用に関する事務を委任しもしくは分掌させる官職を指定したとき、その指定を変更したときもしくは指定した官職にある職員が交替したとき、または個人を指定してその事務を委任したとき、その委任の範囲を変更したときもしくはその委任を解いたときは、そのつど物品管理官に報告しなければならない。

(物品管理職員の命免)

第8条 物品管理官等は、物品管理職員命免簿を備え、所属の物品管理職員の命免を明らかにしなければならない。

(管理換の手續)

第9条 物品管理官等は、物品の管理換をし、または管理換を受けようとするときは学長の承認を得なければならない。ただし、取得価格が50万円以上の機械、器具以外の物品の部局相互間における管理換については、当該部局長の承認を得て行なうことができる。

(不用決定の手續)

第10条 物品管理官等は、物品の不用の決定をしようとするときは学長の承認を得なければならない。ただし、取得価格が50万円未満の物品の不用決定については、当該部局長の承認を得て行なうことができる。

(売払措置の請求)

第11条 物品管理官等は、不用の決定により売払うべき物品がある場合は、契約担当職員に対し、売払いのための必要な措置を請求しなければならない。

(農場生産物の処理)

第12条 農場生産物の処理については、別に定める。(承認、報告等の経由)

第13条 分任物品管理官は、他の法令等およびこの規程により学長の承認を得るとき、学長に報告をするとき、または学外の物品管理官等に対する管理換の協議等をするときは、物品管理官を経由しなければならない。

(物品の寄託)

第14条 見積価格が10万円未満の修繕または改造等のための物品の寄託は、物品供用官が受渡しの内容を明らかにする書類を作成して行なうものとする。

(物品の寄附受入)

第15条 物品管理官等は、物品の寄附受け入れをしようとするときは、寄附者からの品目、数量、金額(購入価格または見積価格)および寄附の目的等を明らかにした寄附申入書により、部局長および学長の承認を得なければならない。

2 前項の規定にかかわらず、学術用の図書、雑誌、文献、資料もしくは標本の類の寄附および科学研究費等による購入物品で関係法令の規定により寄附させる物品または金額が10万円未満の物品の寄附の受け入れ手続きは、別に定める様式によることができる。

(発生材等の引渡)

第16条 建物、工作物等の移築、改築、取壊し等により物品に編入することとなる発生材等の引渡しは、別表第3上欄に掲げる区分により同表下欄に掲げる職員が当該国有財産を管理する部局の物品管理官等に対して行なわなければならない。

(官給材料の支給)

第17条 契約担当職員が国以外の者に材料を支給するものとして工事、製造、修繕または改造等の契約を締結したときは、物品管理官等は、契約担当職員の情報にもとづき、当該材料を契約の相手方に支給し受領書を徴してその授受を明らかにしなければならない。

2 前項の場合において物品管理官等は、当該受領書の写しをすみやかに契約担当職員に送付しなければ

ならない。

(管理の阻害等の報告)

第18条 物品管理官等は、物品の正常な管理を阻害される事実が発生したときは、ただちにその事実および状況について部局長に報告し、分任物品管理官は、物品管理官にその旨を通知しなければならない。

(書類の様式)

第19条 この規程の実施に必要な様式は、物品管理官が別に定める。

附則

- 1 この規程は、昭和45年1月15日から施行し、医学部附属病院(医学部附属学校を除く。)に係る規定は昭和42年6月1日から、医学部附属看護学校に係る規定は昭和43年4月1日から、教育学部附属住吉校に係る規定は昭和43年9月1日から、農学部附属農場に係る規定は昭和43年10月16日から、教育学部附属養護学校、医学部附属衛生検査技師学校、附属図書館および附属図書館六甲台分館に係る規定は、昭和44年4月1日から適用する。
- 2 この規程施行の際、現に行なわれている物品管理事務については、この規程により行なわれたものとみなす。

別表第1

区 分	符 号
事務局(学生部を含む)	C
文 学 部	L
教 育 学 部	P
教育学部附属住吉校	Ps
教育学部附属明石校(幼稚園を含む)	Pa
教育学部附属看護学校	Pn
法 学 部	J
経 済 学 部	E
経 営 学 部	B
理 学 部	S
歯 学 部	M
医 学 部 附 属 病 院	H
工 学 部	T
農 学 部	A
農 学 部 附 属 農 場	AF
教 養 部	G
経 済 経 営 研 究 所	R
附 属 図 書 館	Va
附属図書館六甲台分館	V

備考 上に掲げる符号のほか、必要に応じて供用場所別に所要の符号を附記することができる。
例 C庫 C庫

別表第2

区 分	指定官職
文 学 部	事 務 長
教 育 学 部	事 務 長
教育学部附属住吉校	附属住吉校長
教育学部附属明石校 幼稚園・養護学校	附属明石校長
法 学 部	事 務 長
経 済 学 部	事 務 長
経 営 学 部	事 務 長
理 学 部	事 務 長
医 学 部	事 務 長
医学部附属病院	事務部長
工 学 部	事 務 長
農 学 部	事 務 長
農学部附属農場	農場長
教 養 部	事 務 長
経 済 経 営 研 究 所	事 務 長
附 属 図 書 館	事 務 長
附属図書館六甲台分館	分館長

別表第3

工事等を実施する部局等の区分	引渡しをすべき職員
施 設 部	施 設 課 長
経 理 部	用 度 掛 長
学部および教養部 (下記を除く)	会 計 掛 長
附属住吉校および附属明石校 (幼稚園・養護学校を含む)	事 務 掛 長
医学部附属病院	施 設 掛 長
農 学 部 附 属 農 場	事 務 掛 長
経 済 経 営 研 究 所	会 計 掛 長
附 属 図 書 館 (六甲台分館を含む)	受 入 管 理 掛 長

〔改正理由〕

学内組織の改編に応じて物品管理機関を設置すること、物品の分類換の規定を設け、管理換、不用決定等に関する条項を整備して承認事務の簡素化を図ること、物品の管理を阻害された場合の報告規定を設けること等のため、所要の改正を行なうものである。

人事

◇ 異 動

所属部局	官 職	氏 名	発令月日	異 動 内 容	異動前の所属官職
事 務 局 (庶務部) 庶務課 人事課 (経理部) 経理課	文部事務官	松 田 宏	2. 1	採 用	
	"	永 井 康 夫	"	"	
	事務補佐員	城 野 喜 代 子	1. 16	"	
文 学 部	教 授	橋 本 峰 雄	1. 16	昇 任	助 教 授
	事務補佐員	相 良 ヒデ子	1. 5	採 用	
	"	広 森 孝 子	1. 29	"	
教 育 学 部 (附属住吉 中学校)	教 諭	大 塚 美 代 子	1. 15	辞 職	助 手
	"	亀 田 昌 広	1. 1	休 職	
法 学 部	教 授	西 原 道 雄	1. 1	併任解除	夜間学部主事

	夜間学部主事 臨時用務員	西 賢 菅 原 すすの	1. 1 1. 10	併 任 採 用	教 授	
理 学 部	教 授	細 川 藤 次	2. 1	昇 任	助 教 授	
	事務補佐員	寛 純 子	1. 12	採 用		
	"	長 森 信 子	1. 31	辞 職	技 術 補 佐 員	
医 学 部	助 教 授	児 嶋 喜 八 郎	1. 31	辞 職	助 教 授	
		松 尾 保	2. 1	昇 任	講 師	
		坂 井 昌 武	"	配置換	附 属 病 院 講 師	
		山 中 勝 義	1. 11	採 用		
		小 川 恭 一	1. 31	辞 職	助 手	
	助 手	伊 東 宏	"	"	"	
		奥 谷 明 弘	2. 1	配置換	附 属 病 院 助 手	
		津 嶋 昭 平	"	"	"	
	文 部 技 官 見 習 員	中 江 活 子	"	採 用		
		園 田 浩 二	1. 5	"		
附 属 病 院	講 師	前 田 知 穂	1. 11	昇 任	医 学 部 助 手	
		大 石 康 男	2. 1	"	"	
		金 沢 三 郎	1. 17	辞 職	助 手	
	助 手	門 田 正 義	1. 26	採 用		
		瀬 尾 明	1. 31	辞 職	助 手	
	助 手	児 玉 莊 一	2. 1	採 用		
		武 田 義 敬	"	"		
		香 山 英 樹	"	"		
	講 師 耳鼻咽喉科 医局長 小児科 外科	志 水 雄 輔	1. 16	免 命	耳 鼻 咽 喉 科 医 局 長	
		藤 谷 哲 造	"	"	医 学 部 助 手	
	(中 央) (検 査 部) (看 護 部)	用 務 員 (作 業 員)	松 尾 保	2. 1	"	医 学 部 助 教 授
			伊 藤 乃 木 子	1. 16	配 置 換	業 務 課 用 務 員 作 業 員
		文 部 技 官 (看 護 婦) 技 術 員 (准 看 護 婦) 文 部 技 官 (准 看 護 婦)	吉 野 文 子	"	採 用	
			橋 本 ち づ 代	"	"	
		技 術 補 佐 員 技 能 補 佐 員	浅 野 瑞 穂	1. 19	"	
伊 藤 美 智 子			1. 31	辞 職	文 部 技 官 准 看 護 婦	
上 中 道 子			1. 5	採 用		
久 保 か ず み			1. 16	"		
光 内 広 子			1. 20	辞 職	技 能 補 佐 員	
(事 務 部) 管 理 課		文 部 事 務 官	三 金 康 宏	1. 16	配 置 換	業 務 課 文 部 事 務 官
	田 中 繁		1. 29	休 職		

業 務 課	文部事務官	板谷昇次	1.16	併任	経理課文部事務官 業務課文部事務官作業員
	文部事務官 (作業員)	中川ふじの	"	配置換	
	事務補佐員	高木幸子	"	採用	
		岡本富子	1.10	辞職	
		石崎敏子	"	"	
		北川節子	1.12	採用	
工 学 部	事務補佐員	藤谷良雄	1.16	配置換	事務補佐員 管理課文部事務官
	文部事務官	安部美喜子	"	採用	
	事務補佐員	富田久代	1.26	"	
	臨時用務員				
農 学 部	文部技官 (教務員)	藤原俊晴	1.16	採用	文部事務官
	用務員(作業員)	浜西三吉	1.22	休職	
	臨時用務員	森田元治	1.6	採用	
	事務補佐員	桐林嘉世子	1.30	"	
教 養 部	見習員	阿山弘治	1.16	辞職	文部事務官
		田村豊子	"	採用	
教 養 部	教 授	清水光治	1.16	昇任	助教授 " 助手 " " " "
	"	河合敏行	"	"	
	講 師	新谷澄雄	"	"	
	"	天野善雄	"	"	
	"	野村治夫	"	"	
	"	北谷正行	"	"	
	事務員	松本隆明	1.5	採用	
	事務補佐員	下司かず	1.30	"	

— 人事課 —

— 経理課 —

▶…………新 役 職 員 紹 介…………◁

* 法学部夜間学部主事

(昭和45年1月1日発令)

教 授

西 賢

(昭和3年7月8日生)

— 人事課 —

◇ 海外渡航

◎ 出 発

所 属	官 職	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	渡 航 期 間	渡 航 中 の 主 な 連 絡 先
医学部	教授	辻 昇三	インドネシア	インドネシア西ジャワ中央病院に対する現在までの医療協力のエヴァリエーションおよび今後の協力方針の調査のため	45.1.12) 45.1.27	
医学部	教授	堀田 進	インドネシア	インドネシア西ジャワ中央病院に対する現在までの医療協力のエヴァリエーションおよび今後の協力方針の調査のため	45.1.12) 45.1.27	
医学部	講 師	福崎 恒	インドネシア	インドネシア西ジャワ中央病院に対する現在までの医療協力のエヴァリエーションおよび今後の協力方針の調査のため	45.1.12) 45.1.27	
医学部	講 師	竹原 学	インドネシア	インドネシアにおける出血熱群ウイルスに関する研究	45.1.26) 45.2.19	

◎ 帰 国

所 属	官 職	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	帰 国 日
法学部	教授	西川 知一	イタリア, フランス, スペイン, オーストリア, ドイツ連邦共和国, ベルギー	ヨーロッパにおける宗教政党とその歴史的背景研究のため	45.1.17
文学部	講 師	池上 忠治	フランス	フランス中世美術史蹟学術調査	45.1.27
医学部	教授	辻 昇三	インドネシア	インドネシア西ジャワ中央病院に対する現在までの医療協力のエヴァリエーションおよび今後の協力方針の調査のため	45.1.27
医学部	講 師	福崎 恒	インドネシア	インドネシア西ジャワ中央病院に対する現在までの医療協力のエヴァリエーションおよび今後の協力方針の調査のため	45.1.29

— 庶務課 —

学 事

◇ 昭和45年度入学志願者数調べ

(2月10日)

区分 学部・学科・課程	募集人員	入学志願者数			倍率	昨年		
		男	女	計		志願者数	倍率	
文学部	100	187	155	342	3.4	521	5.2	
教育学部	初等教育系	230	209	417	2.7	698	3.0	
	中等教育系	100	192	207	4.0	484	4.8	
	特殊教育系	20	12	33	2.3	68	3.4	
	小計	350	413	657	3.1	1,250	3.6	
法学部	160	737	36	773	4.8	1,019	6.4	
同第二課程	60	134	8	142	2.4	204	3.4	
経済学部	240	612	10	622	2.6	891	3.7	
同第二課程	60	102	0	102	1.7	159	2.7	
経営学部	240	667	8	675	2.8	957	4.0	
同第二課程	60	110	0	110	1.8	142	2.4	
理学部	数学科	25	78	18	96	3.8	118	4.7
	物理学科	20	165	10	175	8.8	139	7.0
	化学科	25	83	17	100	4.0	119	4.8
	生物学科	15	51	8	59	3.9	57	3.8
	小計	85	377	53	430	5.1	433	5.1
医学部	100	662	71	733	7.3	812	8.1	
工学部	建築学科	60	405	10	415	6.9	388	6.5
	電気工学科	40	230	0	230	5.8	207	5.2
	機械工学科	60	336	0	336	5.6	324	5.4
	土木工学科	60	295	1	296	4.9	294	4.9
	工業化学科	40	161	4	165	4.1	190	4.8
	計測工学科	40	207	0	207	5.2	211	5.3
	化学工学科	40	108	0	108	2.7	144	3.6
	生産機械工学科	40	139	0	139	3.5	161	4.0
	電子工学科	40	202	2	204	5.1	266	6.7
	小計	420	2,083	17	2,100	5.0	2,185	5.2
農学部	園芸農学科	40	86	21	107	2.7	133	3.3
	植物防疫学科	20	43	5	48	2.4	83	4.2
	農業生産工学科	25	79	0	79	3.2	134	5.4
	農芸化学科	40	160	16	176	4.4	230	5.8
	畜産学科	30	56	3	59	2.0	92	3.1
	小計	155	424	45	469	3.0	672	4.3
合計	2,030	6,508	1,060	7,568	3.7	9,245	4.6	

— 学生課 —

◇ 昭和45年度神戸大学入学試験場

学部	試験場	試験場所在地
文学部	第1試験場(コロンビア予備校)	神戸市生田区花隈町153
教育学部	第2試験場(神大教育学部学舎)	神戸市灘区鶴甲3丁目11
	第3試験場(神大教育学部附属明石中学校)	明石市山下町
	第4試験場(神大教育学部附属明石小学校)	〃
法学部	第5試験場(神大教養部学舎)	神戸市灘区鶴甲1丁目3-6
〃 第二課程		
経済学部	第6試験場(神戸市外国語大学)	神戸市灘区土山町
〃 第二課程		
経営学部	第7試験場(神大経営学部学舎)	神戸市灘区六甲台町2
〃 第二課程		
理学部	第8試験場(神大理学部学舎)	神戸市灘区六甲台町1-34
医学部	第9試験場(県立夢野台高校)	神戸市長田区房王寺町
工学部	第10試験場(神大工学部学舎)	神戸市灘区六甲台町1-1
	第11試験場(私立神戸学院大学)	神戸市垂水区伊川谷町有瀬
農学部	第12試験場(神大農学部学舎)	神戸市灘区六甲台町1

— 学生課 —

◇ 昭和45年度神戸大学大学院学生募集要項

◎ 修士課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験期日	試験場	合格者発表	備考
文学研究科	哲学	4	昭和45年 2月16日(月) 2月21日(土)	昭和45年 3月12日(木) 3月13日(金)	神戸大学 文学部学舎	昭和45年 3月25日(水) の予定	
	芸術学	4					
	社会学	4					
	史学	10					
	国文学	8					
	英文学	6					
法学研究科	私法	若干名	昭和45年 2月12日(木)	昭和45年 3月10日(火)	神戸大学 法学部学舎	昭和45年 3月23日(月) の予定	
	公法	"	2月20日(金)	3月12日(木)			
経済学研究科	経済学・ 経済政策	"	昭和45年 2月2日(月)	昭和45年 3月9日(月)	神戸大学 経済学部学舎	昭和45年 3月18日(水)	普通選考
	国際 経済	"	2月14日(土)	3月11日(水)			
経営学研究科	経営学	"	昭和45年 2月12日(木)	昭和45年 3月8日(金)	神戸大学 経営学部学舎	昭和45年 3月19日(木)	第2次選考
	会計学	"	"	"			
	商学	"	2月21日(土)	3月7日(土)			
理学研究科	数学	"	昭和45年 1月22日(木) 1月31日(土)	昭和45年 2月16日(月) 2月17日(火)	神戸大学 理学部学舎	昭和45年 2月18日(水) の予定	第2次選考
	物理学	"					
	化学	"					
	生物学	"					
工学研究科	建築学	"	昭和45年 1月17日(土)	昭和45年 1月25日(月)	神戸大学 工学部学舎	昭和45年 1月31日(土)	第2次選考
	土木学	"	1月23日(金)	1月27日(火)			

(注) 工学研究科の他の専攻については第二次選考は行なわない。

◎ 博士課程

研究科	専攻	募集人員	出願期間	試験期日	試験場	合格者発表
法学研究科	私法	若干名	昭和45年 2月12日(木)	昭和45年 3月19日(木)	神戸大学 法学部学舎	昭和45年 3月28日(土) の予定
	公法	"	2月20日(金)	3月20日(金)		
経済学研究科	経済学・ 経済政策	"	昭和45年 2月2日(月)	昭和45年 3月9日(月)	神戸大学 経済学部学舎	昭和45年 3月18日(水)
	国際 経済	"	2月14日(土)	3月11日(水)		
経営学研究科	経営学	"	昭和45年 2月12日(木)	昭和45年 3月8日(金)	神戸大学 経営学部学舎	昭和45年 3月19日(木)
	会計学	"	"	"		
	商学	"	2月21日(土)	3月7日(土)		
医学研究科	生理学系	12	昭和45年 2月16日(月) 2月27日(金)	昭和45年 3月6日(金) 3月7日(土)	神戸大学 医学部学舎	昭和45年 3月18日(水) の予定
	病理学系	8				
	社会医学系	6				
	内科学系	12				
	外科学系	14				

—学生課—

◇ 学位授与

さる2月10日(火)午前10時から六甲台学舎
貴賓室において学位記授与式が行なわれた。

なお、被授与者の氏名および論文題目等は下記
のとおりである。



氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
本岡龍彦	医学博士(論文)	44.10.1	Influence of Bleeding and Acetylcholine on the Hepatic Circulation (肝循環に及ぼす瀉血、アセチルコリンの影響)
谷口登代子	" (")	44.10.15	皮膚科領域におけるリゾチームの意義について 第一報：各種皮膚疾患患者における血清リゾチーム活性について 第二報：家兎実験的皮膚炎におけるリゾチーム活性について
前田一郎	" (")	"	A Possible Role of Fibrinolytic Enzyme in Experimental Thrombocytopenic Purpura (実験的血小板減少性紫斑における線溶系の動態)
吉田浩	" (")	44.11.5	Studies on the Pathologic Physiology of Pulmonary Hypertension in Mitral Valvular Disease (僧帽弁疾患における肺高血圧の成因に関する病態生理学的研究) Part1. The Role of Sympathetic Nervous System on the Increment of Pulmonary Vascular Resistance (1. 肺血管抵抗増加と交感神経系の関与) Part2. About the Role of the Pulmonary Venous Resistance (2. 肺静脈系の関与について)
笠井勉	" (")	"	Imipramine の家兎脳電気活動におよぼす効果
茂山虎雄	" (")	44.11.19	胃切除後の脂質代謝、特に脂質合成能について
石川羊男	" (")	"	胃癌の十二指腸進展に関する臨床病理組織学的研究
中田晃	" (")	"	Lipoprotein lipase に関する研究
本郷寛美	" (")	44.12.17	ウサギ脾臓条片の対薬物反応、特に諸種脾臓収縮薬の作用機序に関する研究

研 修 等

◇ 昭和44年度第2回人事事務研修

- 期 間：1月26日～1月31日
- 会 場：オリンピック記念青少年総合センター
- 参加者：庶務部人事課給与掛 磯田義賢
医学部附属病院管理課人事掛 南木秀昭
- 主 催：文部省

◇ 第3回国公立大学医学部附属病院臨床検査技術者研修

- 期 間：1月29日～2月5日
- 会 場：東京大学
- 参加者：医学部附属病院 衛生検査技師 高見寿夫
- 主 催：文部省

◇ 昭和44年度全国厚生補導職員研修会

- 期 間：2月4日～2月7日
- 会 場：関東甲信越地区国立大学赤城山寮
- 参加者：学生課課長補佐 山本雄三
- 主 催：文部省

— 以上人事課 —

雑 報

◇ 職員厚生経費について

＜目的および支出範囲＞この経費は、職員の執務能率の増進計画の一環として、国が行なう職員のレクリエーション、福利厚生および健康診断のために、直接必要とする経費にあてるためのものです。国が行なうレクリエーションは、「職員の健全な文化、教養、体育等の活動を通して、その元気を回復し、および相互の緊密度を高め、ならびに勤務能率の発揮および増進に資するものでなければならない。」（人規10-6第1条）とされています。

また、この経費の支出範囲は、主に物品費、役務費のような、事業に直接必要とするものに限られております。

＜配分の積算基礎＞この経費は、年度当初に、その年度の職員定員に応じて1人当たり1,300円（ただし、新規定員増分については1人当たり975円）の積算で配賦されてきますが、この積算基礎の内訳は、表彰経費120円（9%）、健康診断経費430円（33%）およびレクリエーション経費750円（58%）から成り立っています。

＜本学の状況＞本年度、本学に配賦された予算は次のとおりです。

国立学校	2,138,000円
附属病院	971,000円
附置研究所	62,000円
計	3,171,000円

この予算の目的に従い本年度は次のとおり各種事業を計画、実施するようにレクリエーション委員会（健康管理の計画については保健委員会）で決定されております。

事 項	金額	備考	
Ⅰ. 表彰経費	108,500	3.4%	
Ⅱ. 健康診断経費	706,300	22.3%	
Ⅲ. レクリエーション経費	1 部局別行事費	1,481,800	46.1%
	2 部局別福利厚生用具購入費	381,200	11.4%
	3 共通経費	533,500	16.8%
	小 計	2,396,500	74.3%
合 計	3,171,000		

A 表彰経費……この経費は本学永年勤続者表彰規則および文部省永年勤続者表彰規程に基づき本年度表彰を受ける者に対し、贈呈する記念品の購入および表彰状の作成に必要な経費が計上されております。

B 健康診断経費……この経費は、人事院規則10-4に基づき、本年度における職員の各種健康診断を実施するために必要な経費として、各学舎の保健室を管理する部局へ、その学舎の在職人員分をまとめて配分しています。したがって、各学舎単位に一般定期・特別健康診断および成人病対策健康診断がこの経費で実施され、また、各部局に備え付けの救急薬品等が購入されております。

C1 部局別行事費……この経費は、本学の規模や各

学舎の立地条件、さらに職員の勤務態様からして、全学一本の行事だけでは全員参加することが困難であるので、各部局単位でそれぞれレクリエーション行事を計画し、実施させるための経費であって、1人当たり800円の範囲内で行なうことになっています。なお、この経費の執行残は、レクリエーション行事実施後、後述の部局別福利厚生用具購入費とあわせて、各部局の必要な福利厚生用具を購入することになっております。

C2 部局別福利厚生用具購入費……この経費は、職員のレクリエーション、福利厚生のために、各部局の必要な用具の購入、補修をさせるための経費です。各部局の割当て額は、基礎配分額一律3,000円と部局在職人員に130円を乗じた額の合計額となっております。

C3 共通経費……この経費は、全学的なレクリエーション行事（見学会、球技大会、教養講座、その他）を実施するための経費や全学共用の福利厚生用具として、希望者に貸出しを行なっているキャンプ用具、スキー用具、釣り用具、水中・海水用具等を年々充足させるための経費として計上されております。

以上本年度の予算のあらましと考え方を述べました。昭和45年度はさらに、これらを充実したものにしていきたいと考えています。職員各位のご意見、ご希望を各部局のレクリエーション・福利厚生事務を所掌している掛または人事課福祉掛へお寄せいただければ幸いです。

◇ 福利厚生用具類について

現在本学にある福利厚生用具類は、職員厚生経費で購入したもの、および文教協会の寄贈によるもので次のようなものがあります。これらの用具類は、全学共用物品であるため、人事課で管理しておりますので利用を希望される部局、または職員は人事課福祉掛へお申し込みください。

1. 学内行事用貸出物品

用具種類	規格・名称等	数量
ラ ジ オ	ソニー・ソリッドステートNEW11	2
ステレオアダプター	ソニー・ソリッドステートNEW11用	1
マイクロホン	ソニー・ワイヤレスマイク	1
電気メガホン	ナショナル	1
トランシーバー	ソニーAC・DC用2個1組	1
電源用アダプター	オートトランシーバー用AC用	1
ベ ー ス	折りたたみ式	3
ライン引き		1
巻 尺	50m	1

2. 学内共通貸出物品（個人に貸出すもの）

用具種類	規格・名称等	数量
撮 影 機	サンキョー・スーパーCM8m/mケース付	1
映 写 機	サンキョー・デラックス8m/m	1
カ メ ラ	ヤシカエレクトロ35プロフェッショナルケース付	1
カ メ ラ	オリンパスペンEEDケース・三脚付	1
三 脚	写真用、8m/m撮影機用	1
幻 灯 機	キャノンスライドスター35mm	1
冷 却 機	キャノンスライドスター35mm用	1
映 写 幕	8m/m映写機用	1
双 眼 鏡	マイネッティ10X	1
ス キ ー	180cm(ソリッドストックケース付)	3
〃	185cm(〃)	11
〃	190cm(〃)	12
〃	195cm(〃)	5
ス キ ー 靴	23.0cm	8
〃	23.5cm	2
〃	24.0cm	6
〃	24.5cm	4
〃	25.0cm	5
〃	25.5cm	4
〃	26.0cm	5
〃	26.5cm	2
ア ノ ラ ッ ク	裏付 M	5
〃	〃 L	5
〃	裏無 S	3
〃	〃 M	6
〃	〃 L	2

用具種類	規格・名称等	数量
リュック	L	3
〃	M	11
〃	S	3
テント	5～8人用	9
〃	3～4人用	1
〃	1～2人用	5
スコップ		6
飯盒		15
コップ		9
食器	6個1組	11
コップ	5個1組	13
布バケツ		12
マナイタ・包丁		6
ランタン		2
水筒		6
ラジュース		3
ナタ		5
カドニカ・ライト		5
ヘッド・ランプ		3
サーフライダー		3
ゴムボート	2人用	2
〃	1人用	3
溪流竿		4
リール竿	(リール付)	13
ハラ竿		4
マージャン・パイ		3
マージャン台		1

注：マージャンについては、学内で使用しないでください。 — 人事課 —

◇ 他大学所在地変更

このたび千葉大学事務局、学生部の所在地が次のとおり変更になりました。

新住所 千葉市弥生町1番33号
郵便番号 280
電話 千葉(0472)51-1111

このたび群馬大学教育学部、教養部、附属図書館の所在地が次のとおり変更になりました。

新住所 前橋市荒牧町1375
郵便番号 371
電話 前橋(0272)32-1611

◇ 他大学住居表示変更

2月1日より東北大学の住居表示が次のように変更になりました。

仙台市片平2丁目1番1号

◇ 他大学電話番号変更

2月1日から埼玉大学の電話番号が次のように変更になりました。

埼玉(0488)32-2111(大代表)

〇〇〇 受け入れ刊行物一覧 〇〇〇

受入日	刊行物名	発行者等	所属
12.17	東京工業大学要覧(昭和44年度)	東京工業大学	庶務課
〃	「二十年史日本セメント労働組合」	日本セメント株式会社	〃
12.18	鳥取大学職員録(昭和44年)	鳥取大学	〃
〃	海技大学(昭和44年)	海技大学校	〃
〃	金沢大学職員録(昭和44年)	金沢大学	〃
12.19	「鈴木大拙全集第二十四巻」	出光興産株式会社	〃
12.22	弘前大学職員録(昭和44年)	弘前大学	〃
〃	大阪教育大学職員録(昭和44年)	大阪教育大学	〃
〃	群馬大学職員録(昭和44年度)	群馬大学	〃
〃	滋賀大学職員録(昭和44年)	滋賀大学	〃
〃	関西学院院員および教職員名簿(昭和44年)	関西学院大学	〃
〃	広島大学要覧(昭和44年度)	広島大学	〃
〃	昭和43年度全国交通情勢調査近畿地区O・D調査報告書	神戸市都市計画局	〃
12.25	大阪大学職員録(昭和44年)	大阪大学	〃
〃	横濱国立大学概要(昭和44年度)	横濱国立大学	〃
〃	高知大学要覧(昭和44年)	高知大学	〃
〃	東北大学職員録(昭和44年)	東北大学	〃
〃	灘区内官公署事業所団体名簿	灘区勢振興会	〃
12.27	早稲田大学教職員名簿(昭和45年)	早稲田大学	〃
〃	名古屋大学職員録(昭和44年度)	名古屋大学	〃
1.5	山形大学職員録(昭和44年)	山形大学	〃
〃	愛知教育大学職員録(昭和44年度版)	愛知教育大学	〃
〃	東北大学概要(1969年版)	東北大学	〃
〃	東京工業大学職員録(昭和44年度)	東京工業大学	〃
〃	学位論文内容および審査の要旨	東北大学	図書館
〃	研究紀要第4号	鹿児島短期大学図書館	〃
1.6	伊藤忠商事100年	伊藤忠商事株式会社	庶務課
1.10	京都大学職員録(昭和45年)	京都大学	〃
〃	神戸銀行倶楽部会員名簿	神戸銀行倶楽部	〃
1.16	京都大学英文概覧(1969~70年)	京都大学	〃
1.19	学位論文要旨および審査要旨公表	熊本大学	図書館
〃	熊本大学概要(昭和44年度)	熊本大学	庶務課

◇ 前号(No.161)訂正

頁	欄	行	誤	正
2	年頭のあいさつ	20	打開と推進の衝きに	打開と推進の衝に
6	他大学所在地変更	3	下大久保 225	下大久保 255